

## 平成28年度健康づくり推進協議会会議録

### 1 開催日時

平成28年7月13日(水) 午後2時～午後3時20分

### 2 開催場所

成田市赤坂1丁目3番地1  
成田市保健福祉館 会議室1・2

### 3 出席者

(委員)

國保委員、林田委員、藤崎委員、佐久間委員、平間委員、村島委員  
小森委員、福田委員、飯田委員

(事務局)

田中健康増進課長、三橋主幹、橋本係長、中村係長、畠主査、笹本主査、  
小倉主査、若菜薫(株式会社サーベイリサーチセンター)

### 4 欠席者

京増委員

### 5 委嘱状交付

課長から委嘱状の交付

成田青年会議所 副理事長 村島弘和

成田市社会福祉協議会 事務局長 飯田美則

### 6 会長挨拶

### 7 健康増進課長挨拶

### 8 議題

- ① 議案第1号 平成27年度健康増進課事業実績について
- ② 議案第2号 成田市健康増進計画の策定状況について
- ③ その他

## 9 議事の内容

### ① 平成 27 年度健康増進課事業実績について

別添資料により事務局が主な事業について説明。

橋本係長

健康づくり推進協議会、健康づくり講演会、健康・福祉まつり、成田市急病診療所、看護師等修学資金、成田市医療相談ほっとライン事業

三橋主幹

一般健康相談、電話健康相談、こころの健康相談、健康教育、健康教室、歯科健康相談、成田市健康ぼらんていあ、こころの健康づくり（成田市笑医プロジェクト事業）から立ち上げ団体、自殺対策、乳がん検診未受診理由の傾向について、在宅訪問歯科指導、在宅訪問歯科診療、健康診査、がん検診、平成 26 年度働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業の年代を対象にした未受診者勧奨

中村係長

母子手帳の交付、パパママクラス、こんにちは赤ちゃん事業、赤ちゃん相談、1 歳 6 か月検診、2 歳児歯科検診、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査、たんぼぼ教室、こども発達支援センター「ピカピカ教室」、むしば予防歯みがき相談、保育園・幼稚園歯科健康教育、ことばの相談、こころの発達相談、心理相談、特定不妊治療・不育治療等の費用助成、乳幼児学童の予防接種、高齢者インフルエンザ個別予防接種、肺炎球菌個別予防接種

原案どおり承認

### ② 成田市健康増進計画の策定状況について

畠主査説明

健康増進計画内容、計画策定期間、健康日本 21（第 2 次）・健やか親子 21（第 2 次）について、関連計画、進捗状況について説明

若菜(株式会社サーベイリサーチセンター)

成田市健康増進計画（原案）説明

計画策定にあたって

策定の趣旨、制度の動向、計画の位置付け、計画の期間、策定経緯、調査概要、ワークショップの概要、

基本的な考え方

基本理念、基本目標、体系図

※主な質疑応答等は、以下のとおり。

委員：現在実際に行っている事業と本計画との関係は。

事務局：基本的に現在行っている既存の事業を健やか親子21（第2次）および健康日本（第2次）に当てはまる部分を組み込んでいく内容であるため、既存の事業というのを生かした内容、若しくは、それを膨らませていくような内容となる予定。

委員：本計画に合わなければ、今やっている事業は少しずつ改正する方向になるのか。

事務局：計画を策定した後、評価をしながら見直しとなる。

委員：本計画に関して、内容の不足等はないか。

事務局：基本的なものは入っている。

委員：基本計画の健康日本21と、それから健やか親子21、高齢者の3つを合わせて計画する事の良い点、成田市が求めているものというのとは何か。

業者：全体の内容が、ライフステージの展開の中で位置づけされているところ。子供から高齢者までという全体を見る内容とすることができる。

事務局：当課の事業は、障がいの有無や、高齢・子供など年齢、介護保険を利用しているか、していないか等の区分にかかわらず、生まれた時から亡くなるまでの健康増進に関することが関連している事、また、介護保険法の改正に伴う在宅医療の推進や、自殺対策などについても、一つにまとめた計画となっている。

委員：高齢者、子供の食育、児童の貧困化などが問題にあり、自殺、精神疾患に関して、計画に組み込んでいったと考えてよいか。それに対する国の予算措置や、自治体の負担の割合が法律の中に入っているのか。

事務局：自殺対策の計画を位置づけ、健康増進計画の中に位置づけた施策とした場合の策定に関する補助金及び、健康増進事業に関する補助金がある。

委員：子供の貧困化に伴い、食事を提供するような自治体も増えてきているので、成田市としても重点的に行って欲しい。

事務局：子供の貧困等については、成田市健康増進計画と並び、成田市子ども・子育て支援事業計画があり、子供について、また子供の将来について考える計画というものがある。このような計画が単独で動くものではなく、この計画の全体が「NARITAみらいプラン」の中に位置づけられたものとして整合性を図った動きを示すものとなっているため、本計画の中で子供の貧困についてという文面はない。

委員：介護離職や、それに伴う精神的なケアは計画に位置付けられているか。

事務局：介護に関するものとしては、成田市介護保険事業計画がある。介護保険法が改正に伴い、高齢者介護、それも単独の子供さんの介護による離職も問題となっている。介護保険法に基づき、地域包括支援センター等の活動を進めており、生活に見合ったプランを立てる事が今の見通しとなっている。

委員：成田市の周辺では、空港も空港の関連の職場もあり、昼間、誰も家にいないというのは非常に多い。離職をしないで、仕事を続けながら介護ができるという、そういう環境が必要。

委員：計画を策定する上で、健康こども部と福祉部、高齢者福祉を統合するという意味で、縦割りの壁を破って、こうやるんだという力を持った人が必要。

委員：策定の趣旨に関して、国や県の施策だけではなく、成田市の健康課題、健康の問題を考えて計画をしているか。

事務局：既存の事業をもとに、国の計画、県の計画との整合を図りながら作業を進めているが、ワークショップや、アンケート、当課事業実績などの分析も踏まえて策定する予定。

以上

原案どおり承認

- ③ その他  
健康づくり講演会について  
事務局一任

**10 傍聴者**

- ① 傍聴者 2人

**11 次回開催日時**

第2回 平成29年3月23日(木)